

大名みえ子です

2016. 6. 3 No.325
東海村村松 2401-2
電話・fax 029-284-0761



テルウェル(東日本)東海村学童クラブ指定管理者を訪ねました

6月1日、テルウェル東日本東海村学童クラブ指定管理者の事務室は、石神学童クラブ建屋内の1室にありました。訪ねたのは午後2時で、まだ子どもたちは帰っていませんでした。写真は、学童クラブの生活部屋ですが、すぐ隣に学校があり、放課後、学童へ向かううえで安心できる環境にあることを再確認しました。

子どもたちは学校から帰ると、各自の棚に荷物を置き、宿題があればまず始めるそうです。棚には、各自の防災頭巾が置いてありました。

テルウェルの説明では、以前の指導員さんはみなさん雇用され、その中から5つの学童にはそれぞれ主任指導員が配置されたそうです。子どもたちには大きな変化はない環境になっているとのことですが、①おやつ調理・手作りはできる環境になく、COOPから購入した個装のお菓子であること。②長期休暇中のプール遊びやスキー合宿のようなことは、事故時の責任が持てないため取り入れないということが述べられました。

5学童の運営を受託しているわけですが、学校と学童とのパイプ役として「クラブ長」という部署が設けられ、元村内の学校長を務められた戸祭さんが担っておられました。また、5学童統括の事務長の配置もありました。

詳細のご報告はできませんが、保護者の会が受託している「村松学童クラブ」も訪ねる予定です。

運転していなくても、危険！



日本原子力発電東海第2原発の廃棄物処理棟の地下1階にたまった液体=2日、茨城県東海村（日本原子力発電提供）

東海第2原発で放射性廃液漏れ

2日午後2時55分ごろ、茨城県東海村の日本原子力発電東海第2原発で、廃棄物処理棟の室内に液体がたまっているのを作業員が確認した。

原電によると、確認された液体の量は約750リットルで、1リットル当たり37万ベクレルの放射性物質が検出された。作業員の被ばくや、建屋の外への放射性物質の漏えいはないという。

原電などによると、処理棟には液体廃棄物の入ったタンクの中の気体を処理する装置があり、液体はこの装置を囲む地下1階の堰内にたまっていた。地下2階でも少量の水たまりが見つかった。

1日夕の点検時には漏えいはなかったという。

(共同通信 2016/6/2 23:02)